

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 14 日

評価対象事業		評価者	観光課長 廣川 正	
市民-07	実施事業	海水浴場運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課 観光課 関連課
総合計画上の位置付け	分野	観光	施策の方針	安全で快適な観光空間の整備

1 事業の目的

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

対象	海水浴客等	・海水浴場開設に必要な施設・設備を整備した。 ・なぎさの整地、監視業務等を実施し安全確保を図った。 ・安心で快適な海水浴場を実現するため、警備員の配備や啓発看板の設置を行った。
意図	海水浴場の公衆衛生、危険防止及び秩序保持を図るため。	
効果	観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。	

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算	01年度(2019年度)決算	データ区分	02年度(2019年度)当初予算	備考	
人口等のデータ	人口	176,308人	人口	176,608人	・各年3月31日 (住民基本台帳)	
	世帯数	81,763世帯	世帯数	83,058世帯		
	事業の対象者数		事業の対象者数			
運営資源状況	決算値(千円)	74,529	当初予算(千円)	107,480		
	国県支出金		国県支出金			
	地方債		地方債			
	その他	12,000	12,000	その他	12,000	
	一般財源	62,529	84,812	一般財源	95,480	
	人員配置数	1.3	1.3	人員配置数	1.3	
			会計年度任用職員配置数	0.0		
事業経費運営	人件費(千円)	11,862	人件費(千円)	11,345		
	総事業費(千円)	86,391	総事業費(千円)	118,825		
	市民1人当りの経費(円)	490	市民1人当りの経費(円)	673		
			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、ブルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○. 協働実施済 協働実施済の場合のパートナー 鎌倉市海浜組合連合会
事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> その他
		見直しの内容 海水浴場の健全化を更に進めるため、キッズ&ファミリービーチの一環として、親子連れが安心して参加して楽しめるようなイベントを実施していく。ビーチのバリアフリー化を推進していく。
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 引き続きビーチの健全化を推進するため、子供やファミリー向けのイベントを実施することや、ビーチでのバリアフリー化に努めていく。予算規模は前年と同規模で実施する。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	鎌倉市海水浴場のマナーの向上に関する条例の周知の徹底や、巡回警備員による繰り返しの注意により、海水浴場全体の風紀改善を行うとともに、海上遊具の設置など、家族で楽しめる海水浴場の運営を目指す。 (参考) 市に寄せられた苦情件数 平成27年度: 22件 平成28年度: 19件 平成29年度: 12件 平成30年度: 4件 令和元年度: 7件	

令和元年度(2019年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)	海水浴場のマナーの向上に関する条例の施行後、毎年行っている禁止行為の周知や指導により、一定の風紀の改善が図られており、苦情件数は減少しているが、一部のマナーの悪い海水浴客が禁止行為を行っている状況であることから、令和元年度も引き続きマナーの周知徹底が求められる。	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	海水浴場のマナーの向上に関する条例の事前周知を行うとともに海の家の営業時間などを盛り込んだ自主的なルールを厳格に海浜組合が運用を行い、海水浴場の健全化に取り組んだ。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	条例による禁止行為を行う一部のマナー悪い海水浴場利用者を根絶し、安全で安心な海水浴場の運営の実施が必要である。 バリアフリー化の取り組みの強化が必要である。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	海水浴客数(上段:令和元年度、下段:平成30年度) 単位:人								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	355,000	1,551,785	124,000	13,600	7,472	7,085	93,369	334,800	450,827
	700,000	1,571,454	168,000	18,924	12,165	19,893	117,446	364,000	578,339

比較事項	海水浴場開設費用(上段:令和元年度予算額、下段:平成30年度予算額) 単位:千円								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	102,425	31,926	15,479	9,817	9,609	603	23,089	19,171	3,172
	75,367	29,295	14,561	9,768	9,614	1,283	21,356	18,956	3,523

比較事項	海水浴場開設費用(上段:令和元年度予算額、下段:平成30年度予算額) 単位:千円								
団体名	横浜市	大磯町	真鶴町	湯河原町					
他市実績	58,600	20,542	4,043	9,908					
	58,800	19,894	3,223	9,168					

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	海水浴場の規模や開設期間が市町村ごとに差異がある中で、一概に海水浴客数や開設経費をもって事業規模の適否を判断することはできない。しかしながら、本市は県内でも有数の入込客数があることは事実であり、それに伴い多額の開設経費を要している実情を踏まえ、訪れる海水浴客及び周辺住民双方が満足する海水浴場運営を進めていく上で、事業規模の拡大縮小を検討する際の一つの指標として、今後も引き続き推移を見守る必要がある。
----------------------	---

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	鎌倉に来る前の期待に対する満足度(来訪者アンケート+WEBアンケート)	単位	%	指標の傾向	⇒	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)
当該事業の実施により、観光客の満足度を向上させるため。	目標値	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0
	実績値	79.2	79.5	76.6	78.9	88.1	87.1
	達成率	93.2%	93.5%	90.1%	92.8%	103.6%	102.5%

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	目標値を上回っていることから、引き続き維持または向上させるよう努めたい。
-----------------------	--------------------------------------